



統計データでみる大阪の移り変わり

大阪府総務部統計課

©2014 大阪府もずやん

大阪府統計課では、人口や主要駅の乗車客数、物価の動き、雇用状況など大阪の姿がグラフで分かる、A5サイズのコンパクトな冊子「データおおさか」を、毎年作成しています。

5月には『2022』を発行し、ホームページに掲載しています。

①印刷→②2つ折りに→③ホチキス で出来上がりの優れモノです。是非ご利用ください！

<https://www.pref.osaka.lg.jp/toukei/d-osaka/index.html>



(画像をクリックするとデータおおさかのページに飛びます)


今回は、「データおおさか」に収録されている統計データを中心に、大阪の移り変わりを御紹介します。

1. 30年前の大阪


『2022』では「大阪の一日」として、2020(令和2)年の1日当たりの統計データを紹介しています。

30年前ー最近の平均初婚年齢の若人が生まれた頃ですーの1990(平成2)年からどのように変化したか、比較してみました。

増えたもの

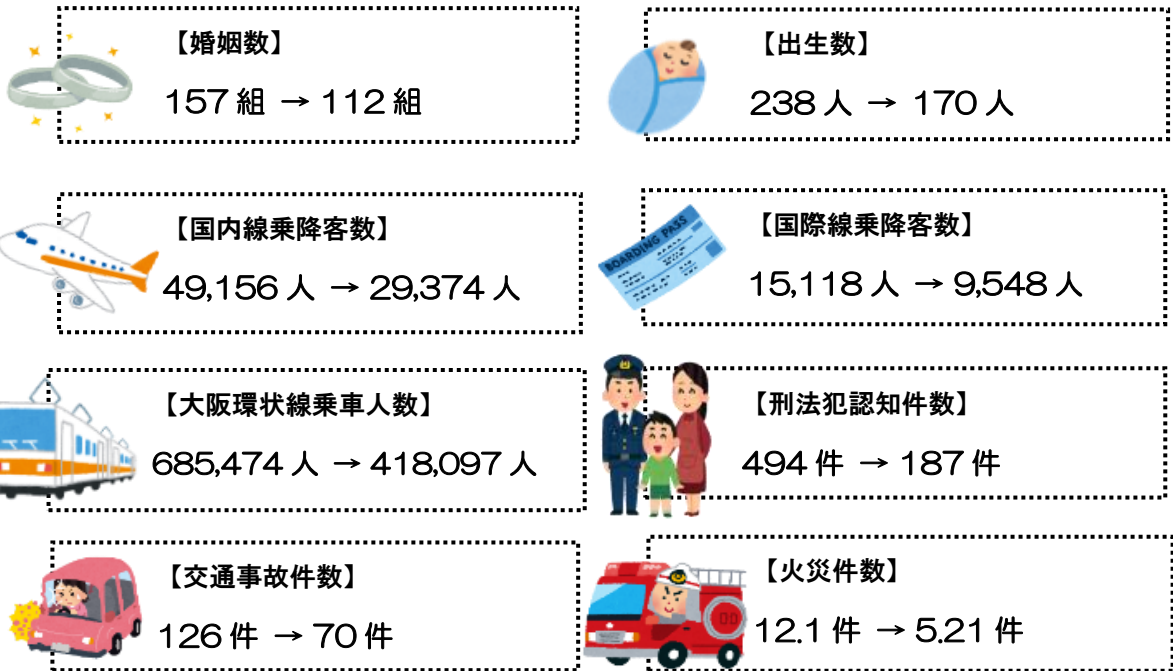


【離婚数】
37組 → 41組



【死亡数】
145人 → 251人

減ったもの



(データおおさか 2022、大阪府統計年鑑より作成)

《補足》

- 【国際線乗降客数】の 1990 年は、大阪国際空港のデータです。(関西国際空港は 1994(平成 6)年開港)
- 大阪駅は東海道本線、天王寺駅は関西本線の駅として集計されるため、【大阪環状線乗車人数】には含まれません。
- 2020 年は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、いわゆる水際対策や出勤抑制、外出・移動自粛要請などの措置が講じられていました。

ですので、鉄道と航空は、前年の 2019(平成 31/令和元)年の利用状況を見えます。

【大阪環状線乗車人数】 570,238 人/日

⇒人口減少やモータリゼーションの進展により鉄道利用者が減るという構図で、新型コロナの影響抜きでも 29 年間で 11 万 5 千人減っています。

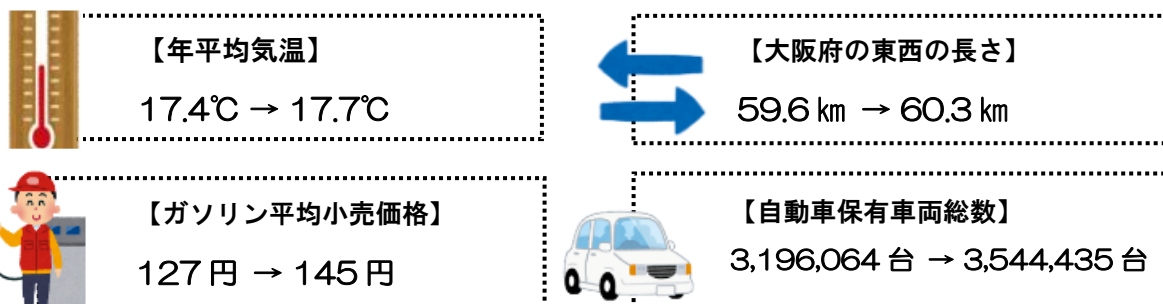
【国内線乗降客数】 64,345 人/日

【国際線乗降客数】 68,016 人/日

⇒新型コロナという事情がなければ、大きく「増えたもの」でした。

また、一日単位には加工できない統計データについても、比較してみました。

増えたもの



減ったもの



(データおおさか 2022、大阪府統計年鑑より作成)

《補足》

- 【年平均気温】は、100 年当たりでは約 2℃ 上昇しています。(大阪府の気候変動(大阪管区气象台))
- 【大阪府の東西の長さ】が 700m 長くなったのは、大阪湾の埋立てによるものです。
面積も、1990 年の 1,883.84km² から 2021(令和3)年10月1日時点で 1,905.34km² に増えていますが、その多くは関空1期工事完了によるものです。
- 【ガソリン平均小売価格】は、令和4年6月27日時点では 173.7 円/ℓ(消費税込み)(石油製品価格調査(経済産業省資源エネルギー庁))と、30 年間の伸びを上回っています。
- 【自動車保有車両総数】に関連して、軽自動車 1 台に対する乗用車(いわゆる 5 ナンバー、3 ナンバー)の台数は、2.5 台から 1.7 台へと、軽自動車の割合が大きく伸びています。
- 【農家数】は、調査対象が、1990 年は経営耕地面積 5a 以上、2020 年は 10a 以上と変わっており、データは「割り引いて」見る必要があります。

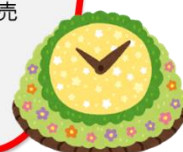
1990 年は、かのバブルの崩壊前年に当たりますが、こんなことがありました。



平成2年の主な出来事

- 1月13日 第1回大学入試センター試験
- 3月26日 夕張炭鉱閉山
- 3月31日 国際花と緑の博覧会開会
- 6月1日 大阪モノレール一部開業
- 10月3日 東西ドイツ統一
- 11月21日 任天堂「スーパーファミコン」発売

流行語大賞 ファジィ、ちびまる子ちゃん
(金賞)



(注釈)左上の絵ですが、若い人は大阪府立登美丘高校ダンス部の「ダンシング・ヒーロー」でご存知かも。
当時、ジュリアナ東京やマハラジャでこんな人たちが浮かれ踊っていました。

大阪では、東洋初の国際園芸博覧会である「国際花と緑の博覧会」が大阪市の鶴見緑地で開催され、来場者は2,312万6,934人と、特別博覧会史上最高を記録しました。(公益財団法人国際花と緑の博覧会記念協会)

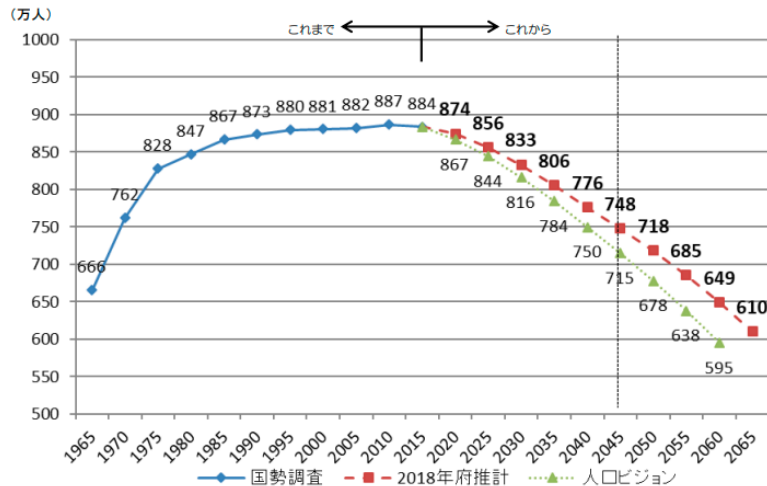
跡地は花博記念鶴見緑地として整備され、市民の憩いの場となっていますが、5月27日の読売新聞オンラインによると、シンボルだった「いのちの塔」の大阪・関西万博での活用策を探る計画が浮上しているそうです。提案が出てこなければ解体とのこと🙄。「いのちの塔」の命や如何に！



2. 30年後の大阪

大阪府の人口は、2020年10月1日現在 883万7,685人です。(令和2年国勢調査(総務省))

また、5年周期の国勢調査の間を埋めるため、大阪府統計課では毎月、直近の国勢調査結果に住民基本台帳登録者数の増減を加減して人口を推計していますが、これによると、本年6月1日現在 878万8,905人です。



出典：2015年までは総務省「国勢調査」。2020年以降は「大阪府人口ビジョン（2016年3月）」及び「大阪府の将来推計人口について（2018年8月）」における大阪府の人口推計（ケース2）に基づく大阪府政策企画部推計。

このグラフは、大阪府政策企画部が推計している人口ですが、30年後の2050年には718万人まで減少する見込みです。

経済成長の源泉の一つとされる人口は減少を続けますが、成長に向けた投資は、大きなものだけでもこれくらい出てきます。

2023年	JRうめきた新駅開業
2025年	大阪・関西万博
2026年	阪神高速淀川左岸線が豊崎まで延伸
2029年	大阪モノレールが瓜生堂まで延伸
2031年	なにわ筋線開通
2037年	リニア中央新幹線が大阪まで延伸
2046年	北陸新幹線が大阪まで延伸



これらの直接・間接の効果が「大阪の一日」をどう変えてくれるか、楽しみです。

トークツ

【Let's 統活！】統計課からのお知らせ

統計データ利活用に役立つ情報や統計調査のお知らせを掲載します。
今回は、お役立ちサイトのご紹介です。

※各バナーをクリックするとサイトに飛ぶことができます。



RESAS(リーサス)

経済産業省と内閣官房が提供する地域経済分析システムのサイト。

人口動態や産業構造、人の流れなどの地域経済に関する官民の様々なデータを地図やグラフで表示し、分かりやすく「見える化」しています。



V-RESAS(ブイリーサス)

内閣府が提供するサイト。

新型コロナウイルス感染症が地域経済に与える影響をリアルタイムに近い形で可視化。地域経済に関する様々なビッグデータを提供することで、地方公共団体の政策立案や企業の経営判断を支援しています。

☆RESAS、V-RESAS の使い方の動画、RESAS を活用した講義の動画が公開されています。ご参考に！

https://www.chisou.go.jp/sousei/resas/resas_setsumeidouga.html

大阪府統計課は、統計普及活動＝『統活(トークツ)』という形で、統計データをもっと利活用いただけるよう取り組んでいます。

✉ お問合せはこちら

[大阪府統計課へのお問合せ\(大阪府行政オンラインシステム\)](#)
[大阪府総務部統計課情報企画グループ ☎06-6210-9196](#)